新　旧　対　照　表

【　別紙２　】

改　正　後

別紙2

様式－１　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT土工】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、⑤は必須、③、④のいずれかは実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階		作業内容			技術名
■	①３次元起工測量				1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
					● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
					3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
					4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
					5　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
					6　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
					7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
					【削除】
					※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
	②３次元設計データ作成				
■	③ＩＣＴ建設機械による施工	●	掘削工	● 1,000m3未満	1　３次元マシンコントロール（ブルトーザ）技術
			盛土工		● 2　３次元マシンコントロール（バックホウ）技術
			路体盛土工		3　３次元マシンガイダンス（ブルトーザ）技術
			路床盛土工	小規模土工	4　３次元マシンガイダンス（バックホウ）技術
			法面整形工【削除】		※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかでICT建設機械を活用すれば良い。
■	④３次元出来形管理技術等の施工管理	出来形			1　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
					● 2　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
					● 3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
					4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
					5　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
					6　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
					7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
					8　施工履歴データを用いた出来形管理
					9　モバイル端末を用いた出来形管理
					１０　地上写真測量を用いた出来形管理
					【削除】
					※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。 ※「①３次元起工測量」で採用した技術と相違しても良い。
		●	品質		1　ＴＳ・ＧＮＳＳによる締固め回数管理技術
					※盛土の締固め作業が工事内容に含まれない場合は、本技術は本表の対象外とする。 ※現場条件等から、ＴＳ・ＧＮＳＳによる締固め回数管理技術の実施が適さないと判断される場合は、従来手法（砂置換法、ＲＩ等）で管理することを認める。
	⑤３次元データの納品				

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（土工）実施要領（令和８年11月）によるものとする。

現　行

別紙2

様式－１　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT土工】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、⑤は必須、③、④のいずれかは実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階		作業内容		技術名
■	①３次元起工測量			1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
				● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
				3　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
				4　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
				5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
				6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
				7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
				8　その他の３次元計測技術を用いた起工測量
				※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
	②３次元設計データ作成			
■	③ＩＣＴ建設機械による施工	●	掘削工	1　３次元マシンコントロール（ブルトーザ）技術
			盛土工	● 2　３次元マシンコントロール（バックホウ）技術
			路体盛土工	3　３次元マシンガイダンス（ブルトーザ）技術
			路床盛土工	4　３次元マシンガイダンス（バックホウ）技術
			法面整形工（土工量1,000m3以上）	※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかでICT建設機械を活用すれば良い。
■	④３次元出来形管理技術等の施工管理	出来形		1　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
				● 2　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
				● 3　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
				4　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
				5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
				6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
				7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
				8　施工履歴データを用いた出来形管理
				9　モバイル端末を用いた出来形管理
				１０　地上写真測量を用いた出来形管理
				１１　その他の３次元計測技術を用いた出来形管理
				※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。 ※「③３次元施工計画」で採用した技術と相違しても良い。
		●	品質	1　ＴＳ・ＧＮＳＳによる締固め回数管理技術
				※盛土の締固め作業が工事内容に含まれない場合は、本技術は本表の対象外とする。 ※現場条件等から、ＴＳ・ＧＮＳＳによる締固め回数管理技術の実施が適さないと判断される場合は、従来手法（砂置換法、ＲＩ等）で管理することを認める。
	⑤３次元データの納品			

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（土工）実施要領（令和７年９月）によるものとする。

備　考

新　旧　対　照　表

【　別紙２　】

改　正　後

別紙2

様式－１－１　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT作業土工（床掘）】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、③、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック様に「●」を記入する。
③ＩＣＴ土工の関連施工工種（同時施工のみ）として実施する。

建設生産プロセスの段階	作業内容	技術名
■ ①３次元起工測量		1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
		● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
		3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		5　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
		6　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
		7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
		【削除】
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成		
③ＩＣＴ建設機械による施工		1　３次元マシンコントロール（バックホウ）技術
		● 2　３次元マシンガイダンス（バックホウ）技術
⑥３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘））実施要領（令和8年11月）によるものとする。

現　行

別紙2

様式－１－１　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT作業土工（床掘）】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、③、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。
③ＩＣＴ土工の関連施工工種（同時施工のみ）として実施する。

建設生産プロセスの段階	作業内容	技術名
■ ①３次元起工測量		1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
		● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
		3　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
		4　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
		5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
		6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		8　その他の３次元計測技術を用いた起工測量
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成		
③ＩＣＴ建設機械による施工		1　３次元マシンコントロール（バックホウ）技術
		● 2　３次元マシンガイダンス（バックホウ）技術
⑤３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘））実施要領（令和7年9月）によるものとする。

備　考

新　旧　対　照　表

【　別紙２　】

改　正　後	現　行	備　考

様式－１－２　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT付帯構造物設置工】

別紙2

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、④、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。
③ＩＣＴ土工の関連施工工種（同時施工のみ）として実施する。

建設生産プロセスの段階	作業内容	技術名
■ ①３次元起工測量		1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量 ● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量 3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 5　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量 6　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量 7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量 【削除】 ※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成		
④３次元出来形管理技術等の施工管理	● ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工 緑化ﾌﾞﾛｯｸ工 石積(張)工 側溝工 管渠工 暗渠工 縁石工 基礎工(護岸) 海岸ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工 ｺﾝｸﾘｰﾄ被覆工 護岸付属物工	1　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 ● 2　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 5　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理 6　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理 7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理 8　モバイル端末を用いた出来形管理 9　地上写真測量を用いた出来形管理 ※「③３次元起工測量」で採用した技術と組合せても良い。
⑤３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（付帯構造物設置工）実施要領（令和８年11月）によるものとする。

様式－１－２　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT付帯構造物設置工】

別紙2

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、④、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。
③ＩＣＴ土工の関連施工工種（同時施工のみ）として実施する。

建設生産プロセスの段階	作業内容	技術名
■ ①３次元起工測量		1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量 ● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量 3　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量 4　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量 5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量 6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 8　その他の３次元計測技術を用いた起工測量 ※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成		
④３次元出来形管理技術等の施工管理	● ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工 緑化ﾌﾞﾛｯｸ工 石積(張)工 側溝工 管渠工 暗渠工 縁石工 基礎工(護岸) 海岸ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工 ｺﾝｸﾘｰﾄ被覆工 護岸付属物工	1　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理 ● 2　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理 3　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 4　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 5　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 6　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理 8　その他の３次元計測技術による出来形管理 【追加】 ※「③３次元起工測量」で採用した技術と組合せても良い。
⑤３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（付帯構造物設置工）実施要領（令和７年９月）によるものとする。

新　旧　対　照　表

【　別紙２　】

改　正　後	現　行	備　考

改正後

別紙2

様式－２　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT法面工】

【植生工、吹付工、法枠工】
①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、④、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。
【削除】

建設生産プロセスの段階		作業内容		技術名
■	①３次元起工測量			1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
			●	2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
				3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
				4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
				5　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
				6　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
				7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
				【削除】
				※監督の技術を組み合わせて採用しても良い。
	②３次元設計データ作成			
■	④３次元出来形管理等技術等の施工管理	●	種子散布	1　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
			張芝	2　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			筋芝	● 3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			市松芝	4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			植生ｼｰﾄ	5　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
			植生ﾏｯﾄ	6　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
			植生筋	7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
			人工張芝	8　地上写真測量を用いた出来形管理
			植生穴	【削除】
			植生基材吹付	【削除】
			客土吹付	※監督の技術を組み合わせて採用しても良い。
			ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	※「⑤３次元起工測量」で採用した技術と組合しても良い。
			ﾓﾙﾀﾙ吹付	【削除】
			法枠工	
			落石雪害防止工	
	⑤３次元データの納品			

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（法面工）実施要領（令和８年11月）によるものとする。

現行

別紙2

様式－１－３　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT法面工】

【植生工、吹付工、法枠工】
①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、④、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。
③ＩＣＴ土工の関連施工工種（同時施工のみ）として実施する。
【法面整形工 1,000m3未満】
①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、⑤は必須、③、④のいずれかは実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階		作業内容		技術名
■	①３次元起工測量			1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
			●	2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
				3　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
				4　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
				5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
				6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
				7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
				8　その他の３次元計測技術を用いた起工測量
				※監督の技術を組み合わせて採用しても良い。
	②３次元設計データ作成			
■	④３次元出来形管理技術等の施工管理	●	種子散布	1　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
			張芝	2　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			筋芝	● 3　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
			市松芝	4　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
			植生ｼｰﾄ	5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
			植生ﾏｯﾄ	6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			植生筋	7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			人工張芝	8　施工履歴データを用いた出来形管理（土工）※
			植生穴	9　地上写真測量を用いた出来形管理（土工）※
			植生基材吹付	10　その他の３次元計測技術を用いた出来形管理
			客土吹付	※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
			ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付	※「⑤３次元起工測量」で採用した技術と組合しても良い。
			ﾓﾙﾀﾙ吹付	※8、9は法面整形１のみ
			法枠工	
			落石雪害防止工	
	⑤３次元データの納品			

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（法面工）実施要領（令和７年９月）によるものとする。

備考

新　旧　対　照　表

【　別紙２　】

改　正　後	現　行	備　考

改正後

別紙2

新規

様式－１－４　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT土工（1,000m3未満・小規模土工）】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、⑥は必須、③、④のいずれかは実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階	作業内容		技術名
■ ①３次元起工測量		●	1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
			2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
			3　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
			4　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
			5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
			6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
			7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
			8　その他の３次元計測技術を用いた起工測量
			※1～8を選択する場合、複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成			
③ＩＣＴ建設機械による施工	土工（1,000m3未満）	●	1　３次元マシンガイダンス（バックホウ）技術
	小規模土工		
■ ④３次元出来形管理技術等の施工管理	土工（1,000m3未満）		1　モバイル端末を用いた出来形管理
	※小規模土工の場合、基本的に作業土工であるため「該当なし」		2　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
		●	3　レーザースキャナーを用いた出来形管理
		●	4　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
			5　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
			6　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
			7　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			8　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			9　施工履歴データを用いた出来形管理（土工）
			10　地上写真測量を用いた出来形管理（土工）
			11　その他の３次元計測技術を用いた出来形管理
			※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
			※「①３次元起工測量」で採用した技術と組合してもよい。
⑤３次元データの納品			

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（土工1,000m3未満）実施要領（令和７年９月）又は森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（小規模土工）実施要領（令和７年９月）によるものとする。

現行

別紙2

新規

様式－１－４　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT土工（1,000m3未満・小規模土工）】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、⑤は必須、③、④のいずれかは実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階	作業内容		技術名
■ ①３次元起工測量		●	1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
			2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
			3　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
			4　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
			5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
			6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
			7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
			8　その他の３次元計測技術を用いた起工測量
			※1～8を選択する場合、複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成			
③ＩＣＴ建設機械による施工	土工（1,000m3未満）	●	1　３次元マシンガイダンス（バックホウ）技術
	小規模土工		
■ ④３次元出来形管理技術等の施工管理	土工（1,000m3未満）		1　モバイル端末を用いた出来形管理
	※小規模土工の場合、基本的に作業土工であるため「該当なし」		2　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
		●	3　レーザースキャナーを用いた出来形管理
		●	4　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
			5　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
			6　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
			7　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			8　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
			9　施工履歴データを用いた出来形管理（土工）
			10　地上写真測量を用いた出来形管理（土工）
			11　その他の３次元計測技術を用いた出来形管理
			※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
			※「①３次元起工測量」で採用した技術と組合してもよい。
⑤３次元データの納品			

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（土工1,000m3未満）実施要領（令和７年９月）又は森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（小規模土工）実施要領（令和７年９月）によるものとする。

新　旧　対　照　表

【　別紙２　】

改　正　後	現　行	備　考

別紙2

様式－３　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT舗装工】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、⑤は必須、③、④のいずれかは実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階		作業内容	技術名
■	①３次元起工測量		● 1　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量 2　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 3　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量 4　TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量 【削除】 ※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
	②３次元設計データ作成		
■	③ＩＣＴ建設機械による施工	路盤工	● 1　３次元マシンコントロール　モーターグレーダ 2　３次元マシンコントロール　ブルドーザ
■	④３次元出来形管理技術等の施工管理	出来形	● 1　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ● 2　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理 4　TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理 【削除】 ※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。 ※「①３次元起工測量　で採用した技術と相違しても良い。
	⑤３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（舗装工）実施要領（令和8年11月）によるものとする。

別紙2

様式－２　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT舗装工】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、⑤は必須、③、④のいずれかは実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階		作業内容	技術名
■	①３次元起工測量		● 1　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量 2　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量 3　TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量 4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 5　その他の３次元計測技術を用いた起工測量 ※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
	②３次元設計データ作成		
■	③ＩＣＴ建設機械による施工	路盤工	● 1　３次元マシンコントロール　モーターグレーダ 2　３次元マシンコントロール　ブルドーザ
■	④３次元出来形管理技術等の施工管理	出来形	● 1　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ● 2　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理 3　TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理 4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 5　その他の３次元計測技術を用いた出来形管理 ※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。 ※「②３次元起工測量」で採用した技術と相違しても良い。
	⑤３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（舗装工）実施要領（令和7年9月）によるものとする。

新　旧　対　照　表

【　別紙２　】

改　正　後

別紙2

様式－４　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT擁壁工】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、④、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階	作業内容	技術名
■ ①３次元起工測量		1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
		● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
		3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		5　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
		6　TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
		7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
		【削除】
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成		
④３次元出来形管理等の施工管理	● 擁壁工	1　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
	土留工（山留等仮設工）	● 2　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		5　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
		6　TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
		7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
		【削除】
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
⑤３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（擁壁工）実施要領（令和８年11月）によるものとする。

現　行

別紙2

様式－３　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT擁壁工】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、④、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階	作業内容	技術名
■ ①３次元起工測量		1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
		● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
		3　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
		4　TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
		5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
		6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		8　その他の３次元計測技術を用いた起工測量
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成		
④３次元出来形管理等の施工管理	● 擁壁工	1　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
	土留工（山留等仮設工）	● 2　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		3　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
		4　TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
		5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
		6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		8　その他の３次元計測技術を用いた出来形管理
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
⑤３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（擁壁工）実施要領（令和７年９月）によるものとする。

備　考

新　旧　対　照　表

【　別紙２　】

改　正　後	現　行	備　考

別紙2

様式－５　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT治山ダム工】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、④、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階	作業内容	技術名
■ ①３次元起工測量		1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
		● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
		3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		5　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
		6　TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
		7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
		【削除】
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成		
④３次元出来形管理技術等の施工管理	● 治山ダム工	1　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
		● 2　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		3　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		4　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		5　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
		6　TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
		7　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
		【削除】
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
⑤３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（治山ダム工）実施要領（令和８年11月）によるものとする。

別紙2

様式－４　ＩＣＴ活用工事計画書　【ICT治山ダム工】

①当該工事において活用する施工プロセスのチェック欄に「■」を記入する（②、④、⑤は必須とし実施すること）。
②活用する技術について、該当する作業内容　及び　採用する技術名のチェック欄に「●」を記入する。

建設生産プロセスの段階	作業内容	技術名
■ ①３次元起工測量		1　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
		● 2　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
		3　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
		4　TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
		5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
		6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
		8　その他の３次元計測技術を用いた起工測量
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
②３次元設計データ作成		
④３次元出来形管理技術等の施工管理	● 治山ダム工	1　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
		● 2　地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		3　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
		4　TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
		5　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
		6　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		7　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
		8　その他の３次元計測技術を用いた出来形管理
		※複数の技術を組み合わせて採用しても良い。
⑤３次元データの納品		

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については森林整備保全事業ＩＣＴ活用工事（治山ダム工）実施要領（令和７年９月）によるものとする。